

## 全体会議で委員 会構成員見直し

日本住宅基礎  
鉄筋工業会

日本住宅基礎鉄筋工業会（理事長＝山口龍二・タツミ社長）は6日、都内で全体会議、委員会を開いて委員会活動の方針や機関紙発行について協議し、委員会活動の円滑化のため、委員会構成メンバーを見直した。全体会議には正会員、賛助会員合わせて約60人が参加した。

技術、部材、総務の各委員会はこれまで役割りが明確でなかったとの反省から、進むべき方向性を打ち出し、その方向性に合わせて各委員会の構成メンバーを見直した。機関紙「レインフォースメント」は今年9月に第2号を発行する。

全体会議、委員会に引き続いて講習会が催され、松崎育弘・東京理科大学教授が「建築基準法・建築士法等の改正について」と題して講演した。